

福祉サービス事業所と企業・団体とのつなぎ役

米子市

特定非営利活動法人

鳥取県障害者就労事業振興センター



▲センターなどが主催して事業所の製品販売などを行う「ハートフルフェア」=2013年3月、日吉津村日吉津のイオンモール日吉津

<概要>

所在地／米子市東福原1-1-45

(鳥取県西部総合事務所福祉保健局別棟)

代表者／会長 廣田和幸

事業内容／障がいのある人たちが地域で共に生き、働き
「夢」を持って暮らせる地域社会を目指す

■ネットワークの形成(地域・企業・福祉)

■福祉サービス事業所

(以下「事業所」という)などの事業サポート

(経営・人材育成などの支援/販売促進・受注拡大の支援)

■情報収集と発信

職員数／9人 ※本部(米子)5人、鳥取事務所4人 (2013年11月末現在)

あいサポート団体になったきっかけ

特定非営利活動法人鳥取県障害者就労事業振興センターは、障がい者福祉の向上を図る目的で2006年3月に設立。福祉サービス事業所の事業を振興し、そこで働く障がい者の自立や所得の向上を支援する活動を行っている。

依頼主(企業や団体など)から話を聞き、仕事や商品の内容、量によって希望の条件に合う事業所を紹介したり、複数の事業所での業務受注などのコーディネートを展開。また、地域・企業と事業所とのつなぎ役を担っているので、事業所で働く障がい者とも交流がある。

こうした事業の性質と「あいサポート運動」の理念が合致するため、あいサポート団体となった。また、あいサポート企業と連携したいという思いもあった。



▲イベントを行う際は、あいサポート運動の啓発を実施している

あいサポート運動の

取り組み内容

●あいサポート企業・団体への勧誘

まずは、障がいについて知りたいとの思いから、センターと付き合いがある取引先、あるいは、センターに連絡してきた企業・団体に対し、あいサポート企業・団体への加入を勧めている。事業所の仕事を商品購入の依頼をするときも、「あいサポート企業にもなっていただけませんか」と働き掛け、申請の手伝いをしている。

●職員があいサポートメッセンジャー

センター職員2人が、あいサポートメッセンジャーである。県から依頼があった場合、企業などに直接出向き、あいサポートメッセンジャーとなって研修を行っている。

●あいサポート運動の啓発

イベント開催時などに、あいサポート運動の啓発も行っている。

●センター業務の充実、徹底

センターは、事業所ひいてはそこで働く障がいのある人の収入の向上を軸としている。企業・団体に、事業所の現況や障がい者の就労状況などを伝える役目も担っている。活動そのものが、あいサポート運動の理念と同じであるため、常に業務の充実が図れるよう、努力している。

代表者のコメント

センター長 濱田和弘



障がいがある人の幸せの中に、収入面は外せない。しかし、それはいただくのではなく働いて得るということが大切。その部分を生み出すため、あいサポート企業・団体としっかりと連携して仕事づくりの体制を築いていきたい。

あい
サポート団体



今後の展望、目標

事業所で働く障がい者が自分で働いたお金を地域で使うことで、地域の一員として暮らしている実感を得る。あいサポート企業・団体とさらに連携を深めて、事業所の仕事を増やしていく。一緒に事業展開していく、または、事業所と企業が共同で店を出すなど、さまざまなパターンを探っていく。下請け的ではなく、事業所が企業・団体のパートナーとなるような橋渡しの役目をしっかり担っていきたい。

問い合わせ・連絡先

TEL0859-31-1015
FAX0859-31-1035